交通安全点検メモ（41）

交通対策部会（2023.11）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度２回目の交通安全点検を、９月 14 日～10 月 13 日の間に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

・　場内の出入ゲートを一方通行とし、接触防止対策を行っているほか、道路を汚さないようスパッツ及びハイウォッシャーでタイヤ及び車両の清掃を行っている。（奥村組）
・　場内の路面は、舗装・敷鉄板等により整備され、タイヤに付着の泥で場外、公道に影響を及ぼすことを防止している。（安藤・間）

・　通学路による通行不可、一方通行、積載規制道路等、規制のある道路が多い為、わかりやすい「搬出入車両経路図」を作成し、交通事故防止に努めている。（東亜建設工業）
・　工事車両の走行道路に通学路があった為、発注者や警察と協議の上、通行止めとし、工事車両だけが通行する道路として、児童は他の道路を利用することで安全を確保している。（大成建設）
・　ダンプに搭載の GPS により、運行状況を記録・監視している。また、定期的な追跡調査とドライブレコーダーの録画記録を定期的に確認し安全運転状況を把握している。（錢高組）
・　運搬車両の現場入場のタイミングは運行管理担当者を常駐させ、運搬車両と電話による連絡で現場付近での待機車両が無いよう管理されている。（大成建設）
・　ダンプの運行管理として各種システムを利用して、随時又はリアルタイムで運行状況を把握しているほか、ダンプの追跡調査により、運行ルート等の遵守状況の確認を行っている。（安藤・間、新井組、大豊建設）

・　運搬車両運転手への入場時安全運転教育とハザートマップの配布と周知、全車両へのドライブレコーダーの設置で、運搬車両への安全走行に取り組んでいる。また、運搬会社の事業主による安全運転教育やアルコールチェックの実施、車両管理台帳による点検整備等の実施記録も整備されている。（大成建設）
・　交通安全教育について、毎月「安全大会・安全訓練」を全員参加で開催し、本社から送付された全国の交通事故発生状況や各種事例等を織り込んだ資料を利用して安全教育を実施していた。（熊谷組）
・　日常点検の記録、運行記録（タコメーター）、運転日誌が車両毎に１冊にまとめられて管理され、押印がなされていた。（新井組）

・　搬出汚泥については、事前に搬出車両１台毎の車体重量を測定し、トラックスケールに積載可能重量を設定して過積載を防止しているほか、積み込み時の車両後退時には警笛付き誘導棒を持った誘導員を配置し、誘導なしで後退しないルールを徹底させている。（大成建設）

・　トラックスケールを３台設置し、それぞれ荷重の電光表示がなされ、バックホウオペ、ダンプ運転者が容易に積載重量を確認可能となっており、過積載発生を防止している。（安藤・間）

・　移動式クレーンのオペレーターも資格証、検査証、ステッカーについて、貼付場所、有効期限等確実に把握していた。（熊谷組）

・　現場内の限られたスペースを工夫して活用しており、安全通路の明示や要所に安全看板が設置され、整理整頓の状況も良好であった。また、重機作業エリアでは、誘導員の配置や看板等による立入禁止の明示を行い重機との接触災害防止を実施していた。（大豊建設）

【助言事項】

○　令和５年 12 月１日から、アルコール検知器を使用した酒気帯びの有無の検査が開始となります。今から、運転手の酒気帯びの有無確認は、アルコール検知器を用いて行ってください。

○　現場内での自家用ダンプ運転手の安全管理は、協力会社任せにすることなく、現場入所の他の作業員と同様に教育・指導を行うとともに、記録を残すようにお願いします。

○　各種誘導について、各動作を大きくして誘導すると安心感が出てきます。誘導員は高齢者が多いので、特に、合図、誘導の動作を大きくするよう助言をお願いします。

○　非常信号用具４種類の装備に漏れが見受けられます。特に、赤ランプ（赤色合図灯）の未装備は、交通上の危険を伴うことから、直ちに点検し備付けを行ってください。

○　車検証は、法令で車両搭載が義務付けられています。原本の車両搭載を指導してください。

○　作業員と重機・車両との接触災害が発生しないよう、広範囲な保安柵設置や、立入禁止措置等について、今後も継続的に実施し、設備等も十分点検を行い維持管理を行ってください。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しています。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（40）

交通対策部会（2023.6）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度１回目の交通安全点検を、４月３日～４月２８日の期間を定め、実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

・　現場内の清掃が行き届いているほか、ダンプカー等車両の清掃状況、場内の走行ルール等が確実に実行され、現場周辺の道路整備がきれいな状態で保たれていた。　（東洋建設、日本道路）
・　場内のダンプ等車両通行路に敷鉄板を敷き、走行時の安全確保と防じん対策がとられ、出場時にはタイヤを洗浄して公道の汚れ対策を確実に実施している。　（五洋建設、フジタ）

・　各種運行管理システムを活用し、危険地点での注意喚起を行うとともに、設定速度超過時の注意発報等を実施し運転手の不正な運行を抑止している。　（鹿島建設、大成建設、前田建設）

・　作業時間を早め、朝の朝礼時等に資機材搬入車両を場外道路に待たすことが無いよう配慮している。　（前田建設）
・　土砂運搬経路について、作業所付近においては、交通渋滞の緩和に配慮した経路を複数選定している。　（フジタ）
・　路上駐車や渋滞を発生させないよう国道脇の発注者管理用地を借地し、ダンプ待機基地を設けているほか、場内にも待機場所を設けている。　（鹿島建設）

・　運搬ルートの定期確認及び追跡調査の際、写真撮影を行い交通安全指導に活用している。　（五洋建設）
・　ダンプ運転手に運行経路のヒヤリハット情報や元方への要望を KY シートに記載させ、運行管理に活かしている。　（前田建設）
・　ダンプカー１台ごとに運行管理ファイル(日常点検記録、月次点検記録、運行記録、運行ルートのハザードマップ、緊急連絡体制等を保管)を作成し、車両に搭載していた。　（東洋建設）
・　現場近接箇所でのルールをダンプ運転手等に書面にて配布され、本人の確認サインを記載した物が元請の方に提出され　周知が確実に行われている。　（佐藤工業）

・　ダンプ等工事関係車両が出入りする際は、歩行者・車両誘導として、ゲート各所に交通誘導員を配置するとともに、各一般道路交差部にも配置するなど、現場に即した適切な危険防止措置が行われていた。　（日本道路、五洋建設、フジタ、大成建設）

・　荷台へのシート掛け時に運転者が荷台に上がらなくていいよう、シート掛け要員が竿を使ってシートを掛けていた。　（鹿島建設）
・　シート掛け専用の足場を設置し、シート掛け専用作業員を配置し、運転手のダンプからの墜落、転落災害防止の措置が行われている。　（フジタ）

・　ダンプへのシート掛け箇所には、作業足場を組み、安全ブロック使用して転落防止対策を実施している。（前田建設）

・　場内の安全通路および資材置き場は緑色のカラーコーン、作業エリアは単管バリケード、立入禁止エリアは赤のカラーコーンと色分けして、区画を明確にしているほか、運転者等が気づかず、クレーンが構築物に接触するなどの場合に、周囲からでも運転者へすぐに連絡できるようバリケードに緊急連絡ボタンを設置している。（前田建設）
・　ヒヤリハット情報を携帯で現場内に掲示してあるQRコードを読み取りタイムリーに報告できるような仕組みとし、情報収集に努めている。（前田建設）
・　重機の傍を通る際は、互いの合図を統一して接触防止を行うなどの通行管理がなされていた。（日本道路）

【指導・助言事項】

○　日常点検整備記録、運行記録、運転日誌の記載漏れが見られるので、定期的な点検確認と指導をお願いします。
○　現場内での自家用ダンプ運転手の安全管理について、現場入所の他の作業員と同様に教育・指導をお願いします。
○　助手席の荷物により、小窓からの巻き込み確認ができない状態が見受けられますので、各車両のこまめな点検をお願いします。
○　非常信号用具４種類の装備に漏れが見受けられます。特に、赤ランプ（赤色合図灯）の未装備は、交通上の危険を伴うことから、直ちに点検し備付けを行ってください。
○　作業員と重機・車両との接触災害が発生しないよう、広範囲な保安柵設置や、立入禁止措置等について、今後も継続的に実施し、設備等も十分点検を行い維持管理を行ってください。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しています。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（39）

交通対策部会（2022.11）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度２回目の交通安全点検を、秋の全国交通安全運動（9 月 15 日～10 月 14 日）の期間を中心に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

○　ダンプの運行経路について、学校や交通要所を記載したハザードマップと緊急時の連絡先を記載したカードを運転手へ配布し、一般道における交通事故防止に配慮していた。　（戸田建設）

○　ＧＰＳを利用した運行管理システムにより現場パソコンにてダンプ運行状況が確認でき、渋滞状況や事故の発生等について瞬時に情報収集ができるようにされている。　（大林組）

○　ダンプ運転席内に「残土運搬ルートハザードマップ」「緊急時の連絡先一覧」が備付けられ、また、車内も整理整頓され、視角を遮る物も無く、安全運転教育が徹底されていた。　（銭高組）

○　車の待機場所が１台分しかなく、正門前は通学路の為、入場が８：30 以降に制限された現場だが、ダンプ搬入時は誘導員 3 名で適格に車両の誘導や管理を行っていた。　（竹中土木）

○　大通りと歩道に面した出入口とキャンパス内仮囲いのゲート部の２箇所に交通誘導員を配置して工事車両の誘導を実施し歩行者や一般車両との交通事故防止に努めている。　（大成建設）

○　土砂搬出時のダンプ荷台のシート掛けの際は、パイプ柵を組んだ櫓から、二名の作業員により安全を確保しつつ適切に行われていた。　（銭高組）

○　ダンプ搬出入時の誘導員の配置や重機付近での手元作業員の見える化（ベルトの着用や誘導棒の使用）など災害防止の管理が徹底されていた。　（大成ロテック）

○　積込み後の台貫による重量の確認と荷台へのシート養生については、荷台上へ昇らなくても機械によりシート掛ができるシステムが設置され、作業員の安全を確保している。　（大林組）

○　自社ダンプトラックの全車にＡＥＤを搭載するだけでなく、第三者でも搭載を確認できるようステッカーを添付・告知している。　（大成建設）

○　車両出入口部の路上駐車防止のため、所轄警察署と定期的に協議を重ねるとともに視認性の良い看板を設置するなどの対策が取られており、見通しの確保も含めて良好であった。　（銭高組）

○　車両は清掃がなされ、非常用信号用具が常備されていたほか、場内の道路も定期的にハイワッシャー等により清掃要員が清掃を行い粉塵防止対策を行っている。　（戸田建設）

○　敷地内の走行路に、砂利を引く、敷鉄板が敷く等の養生を行うほか、洗車施設を設ける等の策も行い、沈下、土砂の汚れ防止の対策を入念に行い、施設外への土砂による汚染防止対策が徹底されていた。　（フジタ・銭高組・大林組・大成建設）

○　ダンプトラックの過積載防止のため、全台数計測実施が行われていたほか飛散防止措置も確実に実施されていた。　（竹中土木）

○　ダンプを日々清掃しており、綺麗な状態を保っていたほか、過積載がないよう丁寧な積み込みを行っていた。　（鉄建建設）

○　重機作業エリアでは、誘導員の配置や看板等による立入禁止の明示に加えて軽量の簡易バリケードを作業員に携帯させて、重機との接触災害防止を実施していた。　（戸田建設）
○　重機や車両の接触を回避するため、ダンプ等の動線を決め、反時計回りに移動するようルールが徹底されていた。　（大成ロテック）
○　現場入場管理は、ＣＣＵＳカードリーダーと新型コロナ感染予防対策として自動検温システムを活用し、作業員への健康管理を行っている。　（フジタ）
○　飲酒運転防止対策として、副所長自ら飲酒検知器を携帯し、抜打ちで運転作業員に対し検査を実施しているとの事で、対策が徹底されていた。　（銭高組）

【指導・助言事項】
・　新たな危険個所の把握や安全な運搬ルートの見直しを図るため、定期的な追跡調査を確実に行い運行ルート等の遵守状況の確認をお願いします。
・　ダンプの走行ルートに関するハザードマップを作成し、ダンプ運転手に周知するとともに、マップをダンプ運転手が常に携帯できるような工夫をお願いします。
・　運行管理者による運転者のアルコールチェックと記録簿の確実な記載・整備をお願いします。
・　作業員と重機・車両との接触災害が発生しないよう、広範囲な保安柵設置や、立入禁止措置等について、今後も継続的に実施し、設備等も十分点検を行い維持管理を行ってください。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しています。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（38）

交通対策部会（2022.6）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度１回目の交通安全点検を、春の全国交通安全運動（4 月 6 日～4 月 15 日）の期間を中心に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

○　残土搬出は、トラックスケールを用いて荷姿状況等を確認し、運搬毎に自重計を使用して積載管理を行っている。（五洋・植木 JV）

○　降雨のため搬出残土が湿っていたが、ダンプの清掃状況がしっかりなされており、現場周辺の道路整備がきれいな状態で保たれていた。（五洋・植木 JV）

○　場内の作業エリアは、鉄板が敷かれ、一般道に土砂の汚れが飛散しないよう防止対策が取られていた。（錢高組）

○　ダンプカーの路上待機抑止対策として、現場内に待機場所を設けるとともに、場内はアスファルト舗装が施され、タイヤを汚すことも無く、場内及び出入口もきれいな状態が維持されている。（鉄建建設）

○　歩行者・自転車の通行が非常に多いアーケード街（ハッピーロード）に隣接し、大型車両の通行にも支障が多い現場であるため、アイドリングストップや現場周辺でのダンプ等の待機不可のほか、周辺道路の清掃維持にも努めている。（長谷工）

○　現場の仮囲いの壁面には、錢高組の安全スローガン「見て見ぬふりが事故のもと　妥協するな！ルール違反は即是正」日建連交通安全懸垂幕「運びます　安全・安心・思いやり　みんなを笑顔に建設車両」が掲示され安全意識の高揚を図っている。（錢高組）

○　土砂搬出ダンプの追跡調査をＪＶ職員が１日２回実施しているほか、残土搬出、資材搬入の現場から残土捨場への経路規制を自主的に設定していた。（大林・鏑木・市村 JV）

○　GPS による運行管理を実施し、運転手の不正運行を抑止している。（大成・フジタ・錢高 JV）

○　店社パトロールを月１回実施しており、交通関係の項目も設けて細かな指導・改善がなされていたほか、月１回ダンプ全車の運転手を対象に教育を実施している。（大林・鏑木・市村 JV）

○　昼夜作業であり、特に夜間の防音対策は近隣から苦情が出ないよう防音シート等を有効に活用し徹底を図っている。（フジタ・織戸）

○　地域住民に対して、工事現場の情報（詳しい内容や、進捗状況など）を二次元コードから開示している(4 箇所表示)。（フジタ・織戸）

○　車両系建設機械は環境配慮型軽油代替燃料(GTL)を使用している。（フジタ・織戸）

○　バックホウの接触防止対策として運転手が機械から降りる際、セーフティコーンをキャタピラの四隅に載せる社内ルールを実施し、運転手が乗機する際、確実に周囲を確認、作業員の有無を確認・対比できるようにしている。（鉄建建設）

○　場内は重機が多く稼働しているが、作業区画や誘導員の配置を工夫するとともに、重機の死角（バックサイド）にポールを設置する等、接触災害を防止する取組みがなされていた。（五洋・植木 JV）

○　ダンプ関係以外では、車両系建設機械周辺での作業箇所に大きく目立つ注意看板を設置し、接触防止対策が徹底されていた。（長谷工）

○　アーケード街の横断時には警備員２名に加えて協力会社１名と元請職員２名が立会い細心の注意を払う等により、第三者優先を徹底し事故防止に努めていた。　　（長谷工）
○　車両、歩行者の妨げにならないよう、車両出入口に４名の誘導員を配置し、現場に即した適正な交通整理に努めている。　　（フジタ・織戸）
○　現場周辺は歩行者・車両誘導として、各所にガードマンを配置し、確実に誘導を行っている。
（五洋・植木 JV）
○　150 台/日の地元規制に則って他工区と調整しながら施工しているが、搬出の有る時は交通誘導員を各一般道交差部に配置して交通事故防止に努めている。　(大成・フジタ・錢高 JV)

○　残土の仮置き場が高圧線下にあるため、離隔を確保するために車両系建設機械のアームを上方に伸ばさないというルール決めと表示、及び盛土の管理を徹底していた。（東亜建設）
○　工事用道路が当初設計通りに確保されている場所では、トラロープで区画明示された安全通路が確保され、歩車の分離が行われていた。　　（東亜建設）

【指導・助言事項】
○　日常点検整備記録、運行記録、運転日誌の記載漏れが見られるので、定期的な点検確認と指導をお願いします。
○　運行管理者による運転者のアルコールチェックと記録簿の整備、元請けとして作業所にアルコール検知器の備付等もお願いします。。
○　土砂積込み時に、飛散してボディー等に付着した泥跳ね部分の小まめな清掃をお願いします。
○　新たな危険個所の把握や安全な運搬ルートの見直しを図るため、定期的な追跡調査を実施し、その記録の保存を継続的にお願いします。
○　非常信号用具４種類の装備に漏れが見受けられます。特に、赤ランプ（赤色合図灯）の未装備は、交通上の危険を伴うことから、直ちに点検し備付けを行ってください。
○　作業員と重機・車両との接触災害が発生しないよう、広範囲な保安柵設置や、立入禁止措置等について、今後も継続的に実施し、設備等も十分点検を行い維持管理を行ってください。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しています。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（37）

交通対策部会（2021．11）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度２回目の交通安全点検を、秋の全国交通安全運動（9 月 21 日～9 月 30 日）の期間を中心に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

○　店社安全パトロールを昼間帯に１回、夜間帯に１回実施するほか、店社幹部によるパトロールを月に１回実施するなど、日々交通事故防止対策がなされており、また、是正措置の状況についても記録されている。（大成建設）

○　定期的に地元住民に対する工事関連の説明会の開催をはじめ、工程表の配布や日々の作業内容を仮囲いに掲示するなど、きめ細かな住民サービスがなされている。
（大成建設）（戸田・TSUCHIYA・織戸・伊達 JV）

○　新規入場のダンプカー運転者に対して、場内外における順守事項やハザードマップを活用した交通事故防止対策などきめ細かな安全教育がなされている。（鹿島・西武 JV）

○　全てのダンプカーが緑ナンバーで、日々の車両の点検整備、アルコール検知器による確認などを通じて、車両・運転者管理が行き届いている。（鹿島・西武 JV）

○　近隣対策の一環として、毎朝、朝礼後から作業開示時間までの間、周辺の清掃・環境整備など地域貢献活動に努めている。（東急建設）

○　現場敷地の四隅のフラットパネルを透明パネルに交換し、交差点の見通しを改善するとともに、そのコーナー部に植栽をして建設業のイメージアップに努めている。（東急建設）

○　重機にはサイドカメラ、後方カメラ、人感センサーが搭載されており、作業員等の接触防止に配慮がなされている。（東急建設）

○　ダンプカーの運行経路について、スクールゾーンや交通要所を記載したハザードマップと緊急時連絡先を記載した連絡カードを運転者に配布して、交通事故防止対策に配慮している。
（戸田・TSUCHIYA・織戸・伊達 JV）

○　コロナ対策として、運転者をはじめ全作業員に、朝と昼に血圧や体温測定等を実施して、その結果を体調確認記録簿に保存するなど、健康管理に十分配慮している。
（戸田・TSUCHIYA・織戸・伊達 JV）

○　過積載防止対策として、自重計の使用のほか、トラックスケールを使用して、積載重量をチェックしてその記録を保存している。（戸田・TSUCHIYA・織戸・伊達 JV）

○　ダンプカーの車内は整理整頓され、また、非常信号用具については定期的に点検がなされており、使用期限内のものが常備されている。
（戸田・TSUCHIYA・織戸・伊達 JV）（清水・前田・フジタ・熊谷組・東急 JV）（竹中工務店）

○　ダンプカーの搬出入道路は、国道１５号線に面した非常に交通量が多いことから、搬出ゲートと搬入ゲートを区分し、場内は一方通行に規制して５～６台の待機ヤードを設けるとともに、それぞれのゲートには４人の交通誘導員を配置して交通対策に努めている。（大林組）

○　ダンプカーからの墜落防止措置として、運転者が荷台に上がらずにシート掛けできるシート手動式巻上げ装置を協力会社が開発して労災防止に努めている。
（清水・前田・フジタ・熊谷組・東急 JV）（五洋建設）

○　ダンプカーの路上待機抑止対策として、限られた場内での待機場所の確保や周回のルート、搬出入時間等に配慮した運行管理がなされている。（清水・前田・フジタ・熊谷組・東急 JV）

○　土砂の積載量がダンプカー荷台前方と車内にデジタル表示される「スケールダンプ」を搭載して、過積載防止とＣＯ２排出量削減に努めている。（清水・前田・フジタ・熊谷組・東急 JV）
○　構台上の重機と地下で土を掻き集める重機が作業員と接触しないよう構台からプラチェーンを垂らしたり、構台上に色付きネットを張り接触防止に努めている。（竹中工務店）
○　現場に隣接する道路は狭隘な生活道路で、近隣住民等と連絡会議を開催し、ダンプカーの搬出入についての意見交換など丁寧な説明に努めている。（五洋建設）
○　作業内は鉄板が敷き詰められ、また、清掃やダンプカーの足回り洗浄等が徹底されており、砂埃飛散防止対策の措置が講じられている。（五洋建設）

【指導・助言事項】
○　土砂積込み時に飛散してボディーに付いた泥跳ね部分については、小まめに清掃をお願いします。
○　運転日誌（タコブラフ）のコピーは店社に提出されているが、元請として定期的な点検確認と安全教育をお願いします。
○　追跡調査が低調であったので、新たな危険個所の把握や安全な運搬ルートの見直しを図るため、定期的な追跡調査を実施して、その記録の保存をお願いします。
○　非常信号用具のうち、赤ランプ（赤色合図灯）が装備されておらず、交通上の危険を伴うことから、直ちに備付けをお願いします。
○　ダンプカー運転席について、カーテンで不用意に窓を遮らないように、バンド等で固定措置をお願いします。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しています。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（36）

交通対策部会（2021．6）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度１回目の交通安全点検を、春の全国交通安全運動（4 月 6 日～4 月 15 日）の期間を中心に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

○　作業内はすべて鉄板が敷き詰められ、また、散水車による周辺道路への散水を実施するなど、砂埃飛散防止対策の措置が講じられている。
（竹中土木）（東亜建設工業）（フジタ）（大成・大日本・徳倉・JV）（佐藤工業）

○　現場の近接地には小中学校が複数あり、登下校時間帯に現場出入口及び近接する幹線道路の交差点に交通誘導員を増強配置するなど、交通事故防止に努めている。（竹中土木）

○　ダンプカーの待機場所を場内に確保し、常時誘導員を配置して事故防止の徹底に努めるなど、地域住民対策に配意している。（竹中土木）

○　建設機械、移動式クレーンの作業帯は、適切な作業範囲が指定され、誘導員を配置して接触災害、落下災害の防止に努めている。（東亜建設工業）

○　現場は住宅街で、歩車道の区別のない狭い通りに面しており、工事現場敷地内を歩道に提供して出入口付近に交通誘導員を配置するなど、歩行者の安全確保に努めている。（東亜建設工業）

○　近隣住民に対し、毎週ごとに、日々の作業内容、作業重機、搬出入ダンプカーの台数などが記載されている週間工程表を配布するなど、きめ細かな住民対策がなされている。（東洋建設）

○　資材等搬入運転者全員に対し、店社独自に作成した安全衛生に関する「資材等搬入作業時のルール」を配布して誓約書を徴するなど、安全意識の高揚に努めている。（東洋建設）

○　協力会社の運行管理者が、日々現場でダンプカーの搬出入状況や運転者を目視と配車表などで確認して適正な安全運転管理に努めている。（東洋建設）

○　コロナ禍の中、グリーンサイトを活用した作業管理や日々の体温測定、健康状態等を体調管理表に記載して保存するなど、作業員の健康管理に十分配意している。（フジタ）（東急建設）

○　場内に非定常作業時の災害防止のため、作業手順の厳守を促す大きな看板を設置し、公衆災害の防止に努めている。（フジタ）

○　ダンプカーの運転者に対して新規入場時の教育に加え、安全運転に関する教育や運搬経路のハザードマップを活用した教育を実施し、その記録が保存されている。
（大成・大日本・徳倉・JV）

○　現場には日建連交通対策部会が作成した「２０２１年度交通安全懸垂幕」を３か所に掲げ、職員全員に対して交通安全意識の普及・浸透活動に努めている。（大成・大日本・徳倉・JV）

○　コロナ対策として、会議室にはアルコール消毒液に加えて個別の区切り用アクリルパネルが設置され、また、換気も十分になされており、感染防止対策が施されている。（東急建設）

○　ダンプカーにＧＰＳ機能を搭載し、各車両の休憩時間、移動速度、移動軌跡などをパソコンで管理し、運行記録として保管している。（東急建設）（佐藤工業）

○　ダンプカーの始業前点検の記録、乗務日報記録及びアルコールチェックの打出し記録などを協力会社独自の一つの書類にまとめ管理され、元請が点検を行っている。（東急建設）

○　過積載防止対策として、台貫の代わりにバックホウのクレーンモードを活用して重量を確認し、土捨場の台貫数値との差異を毎回確認することで、土砂積込み作業の適正を徹底している。
（東急建設）（村本建設）

○　ダンプカーの車内は整理整頓されており、非常信号用具も使用期限内のものが常備されている。また、名刺サイズの緊急連絡表を運転者に携帯させて有事の際の早期対応に努めている。
（村本建設）

○　場内数か所に、一般道を横断しての運搬経路があることから、その交差部に「交差点」「一時停止」の看板を設置して、交通誘導員を複数配置している。（村本建設）

【指導・助言事項】

○　ダンプカーの安全管理について、協力会社任せが窺えることから、元請としても日常の点検整備記録、運行日誌及びアルコール検知記録などの実態把握に努めてください。

○　現場出入口は幹線道路の交差点直近で、歩行者、自転車や車両の交通が頻繁であることから、交通量に合った交通誘導員を配置して、交通安全に細心の注意をお願いします。

○　ダンプカーの突入防止バンパーなどの安全装備について、一部変形箇所が認められたので、協力会社に修繕を依頼してください。

○　工期が長期間になることから、安全管理がマンネリ化しないよう安全衛生活動について工夫した取り組みをお願いします。

○　生コン車や資材搬入車両の運転者に対してもダンプカーの運転者に準じた教育を実施し、交通事故防止に努めてください。

○　建設関係車両の運転者の履物について、再度指導をお願いします。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しております。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。

交通安全点検メモ（35）

交通対策部会（2020．11）

（今回の点検における事例集）

日建連公衆災害対策委員会交通対策部会では、本年度１回目の交通安全点検（本年度春は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で中止）を、秋の全国交通安全運動（9 月 21 日～9 月 30 日）の期間を中心に実施いたしました。ご協力いただいた８現場の会員会社の所長様をはじめ職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回の点検の中から、いくつかの好事例や指導・助言事項を紹介いたします。これらの事例を、今後の建設工事現場の交通安全活動の取組みの参考にしていただければ幸甚です。

【好 事 例】

○　ダンプカーの運行管理に国交省が主管する残土管理システムを導入し、登録する８００台のダンプカーの位置情報、場内への入場情報、搬出入スケジュールの調整、ダンプカー用 IC カードによる積載重量の把握、残土運搬実績の集計などを車両運行管理室で管理している。
（鹿島･前田･三井住友･鉄建･西武 JV）

○　全てのダンプカーにＧＰＳ機能を搭載し、運行車両の速度や位置情報等を一元的に車両運行管理室で管理している。（大林･西松･戸田･佐藤･錢高 JV）（五洋建設）

○　ダンプカーに通信型ドライブレコーダーを搭載し、交通事故情報、危険運転情報などを管理して交通安全教育に活用している。（鹿島･前田･三井住友･鉄建･西武 JV）

○　ハザードマップの情報をスマホに登録し、瞬時にその情報を音声ガイドにより運転者に配信している。（鹿島･前田･三井住友･鉄建･西武 JV）

○　発生土のバックホウによるダンプカーへの積込み作業は、仮設防音ハウス内で行われており、騒音や土埃等の飛散防止に努めている。（大林･西松･戸田･佐藤･錢高 JV）

○　車両の搬出入口は、現場敷地に接している東名高速道路に面した出入口のみで、同高速道路本線渋滞と交通事故を防止するため、全ての車両の出入りを車両運行管理室で一元的に管理している。（大林･西松･戸田･佐藤･錢高 JV）

○　定期的に地域住民や近隣施設の関係者と連絡会議を開催し、意見交換や工事の進捗状況、安全対策等について丁寧な説明に努めており、現在まで苦情等のトラブルの発生はない。
（錢高組）（大成･徳倉 JV）（前田建設工業）

○　コロナ対策として、全作業員を対象に、毎日、入場時と休憩時に、血圧や体温測定等を実施して、その記録を保存するなど、健康管理に十分配慮している。
（錢高組）（鹿島･前田･三井住友･鉄建･西武 JV）

○　作業施設出入口に、作業靴を洗浄する場所や設備を設け、住民に対する気配りや周囲の環境整備に努めている。（錢高組）（淺沼組）

○　秋の全国交通安全運動に協賛し、期間中、現場付近のダンプカーの運行経路上に所在する小学校前や主要交差点に交通誘導員を増強配置して、近隣住民及び自転車等の通行車両の安全確保が適切に行われている。（大成･徳倉 JV）（前田建設工業）

○　ダンプカーからの土砂等の落下、飛散防止対策として、シート掛けエリアを確保して、運転者が荷台に上がる昇降設備や墜落防止のための親綱張り支柱を設けている。（大成･徳倉 JV）

○　過去に同種作業で発生した災害事例や現場のハザードマップを朝礼看板に掲示することで、安全意識の高揚に努めている。（鉄建建設）

○　移動式クレーンのブームや吊り荷が、線路占有部に越境して鉄道を緊急停止させないため、レーザーバリアを張り、警報ブザーが作動するシステムを導入している。（鉄建建設）

○　運転者が活用する緊急時連絡体制表を車内に保管し、また、車内搭載の運搬ルートも適宜見直されており、適正に運転者管理がなされている。（五洋建設）

○　場内は、工事の流動的な状況に即対応できるようマグネット式ポールとトラロープを使用し、区画・車両動線と作業通路が明確に仕切られており、安全に配慮がなされている。（淺沼組）

○　店社安全パトロールの点検項目に、交通安全対策に特化したチェックリストを取り入れ、きめ細かなパトロールを定期的に実施して、その記録が保存されている。

（前田建設工業）（鹿島･前田･三井住友･鉄建･西武 JV）

【指導・助言事項】

○　土砂等の運搬ルートを作成し、危険個所の確認を徹底するとともに、随時追跡調査を実施して適切なルートの選定をお願いします。

○　運転者は現場に慣れてくると、油断や運搬ルートと異なる近道走行を行うので、定期的な安全教育と指導の徹底をお願いします。

○　日建連で発行している交通安全教育資料を持参したので、是非活用していただき、その実施状況を記録で残してください。

○　非常信号用具のうち、赤ランプ（赤色合図灯）が装備されておらず、交通上の危険を伴うことから、協力会社に装備するよう指導をお願いします。

○　運転日誌（タコグラフ）が一か月まとめて会社に提出されていることから、適正な運行管理をお願いします。

○　運転中に履物を履いていなかったので、安全靴等を常備していただくか、靴を履いて運転するよう指導をお願いします。

※　交通安全点検は、建設現場における交通事故防止を目的に実施しております。実施に当たり、現場の皆様にはなるべくご負担をお掛けしないように配慮いたしますので、今後ともご協力をお願いいたします。